

地震発生後の火災を想定した避難訓練（緊急地震速報鳴動）の事例

小学校 全学年

I 避難訓練の年間指導計画

1 年間を通して児童に身に付けさせたい力

- (1) 災害発生時に、自分の命は自分で守るための行動ができる力
- (2) 避難時に他者の安全に貢献できる資質や能力

2 年間計画

回	ねらい	避難訓練の内容	防災教材や教科との関連
1	動きができるようになる。きまりや教員の指示に従い、適切に避難行動	・避難経路の確認 ・授業中の地震を想定した避難	○「3. 11を忘れない」 ・地震による災害 ・台風による災害 ○「地震と安全」 ・学校の中でグラッときたらどうしよう！ ○社会、理科
2		・授業中の警戒、警報発表を想定した訓練 ・災害時の一斉集団下校訓練	
3		・授業中の警戒、警報発表を想定した訓練 ・災害時の引き渡し訓練	
4		・休み時間中の地震災害を想定した訓練 ・管理職不在の場合の対応	
5	様々な場面に対して、主体的に行動を起こすことができるようになる。	・清掃中の地震発生による二次災害（火災）を想定した訓練 ・火災拡大を想定した二次避難訓練	○「3. 11を忘れない」 ・大地震が発生したときは ○「地震と安全」 ・家の中でグラッときたらどうしよう！ ○防災ノート「東京防災」 ・家にいるときに大地震が起きたら ・家の外にいるときに大地震が起きたら ○社会、理科
6		・授業中の地震発生を想定した予告なし（児童）訓練 ・地震の影響を受け、第一昇降口使用禁止の場合	
7		・緊急地震速報鳴動時の訓練 ・給食時間終了時の地震発生による二次災害（火災）を想定した訓練	
8		・授業中の地震発生による二次災害（火災）を想定した訓練 ・煙体験ハウス、起震車による体験 ・停電により、校内放送使用不可の場合	
9	他者の安全に配慮し、貢献できるようにする。	・始業前の地震発生による二次災害（火災）を想定した訓練 ・初期消火訓練	○「3. 11を忘れない」 ・応急手当の基本 ○「地震と安全」 ・登下校の時にグラッときたらどうしよう！ ○体育（保健）
10		・授業中の地震災害を想定した訓練 ・地震の影響を受け、第二昇降口使用禁止の場合 ・けが人発生時の担架訓練	
11		・休み時間中の地震発生を想定した予告なし（児童・教職員）訓練 ・校内において児童行方不明の時の対応	

II 避難訓練の実際

「地震発生後の火災を想定した避難訓練（緊急時地震速報鳴動）」

1 年間計画の位置付け、想定場面

第7回の避難訓練

「震度5強の地震及び火災の発生を想定した避難訓練」

2 ねらい

緊急地震速報鳴動時及び火災時の基本的な避難行動を理解し、安全な避難方法を身に付ける。

3 訓練の実際

【想定】

- ① 緊急地震速報の鳴動
- ② 給食終了時の大地震発生
- ③ 火災の発生

	時間の推移	児童の活動	◎指導上の留意点 ■評価
事前指導		○避難訓練の課題をつかむ。	◎避難行動のキーワード「ものが落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所で頭を守る」の指導を徹底する。 ◎火災発生時の適切な避難行動について指導する。 ◎防災ノート「東京防災」を活用し、緊急地震速報鳴動時の行動について学習させる。
避難訓練	○緊急地震速報の鳴動 ○大地震の発生 ○火災の発生（理科室） ○放送による避難指示	○「ものが落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」場所に避難し、頭を守る。 ○地震がおさまるまで避難行動を継続する。 ○放送を聞き、状況を把握するとともに、これからどのように避難するか知る。 ○ハンカチを口に当て、防災頭巾をかぶり、友達と協力し合い「お・か・し・も」の約束を守って、校庭に避難する。 ○校庭に整列し、講話を聞く。 ○代表の児童が、振り返りを発表する。	◎児童が素早く避難行動を取れているか、机の脚をしっかりとつかみ、頭を保護することができるか確認し、個別指導を行う。 ◎出火場所付近の階段、通路を避けた避難経路を放送する。 ◎窓を閉め、カーテンを開けるように放送する。 ◎避難誘導の教職員は、避難経路に立ち負傷者等の有無を児童に確認する。
事後指導		○緊急地震速報が鳴ったときの避難行動の仕方について振り返り、ワークシートにまとめる。	■自身の避難行動を振り返り、自己の課題、今後取り組むことについて、ワークシートに記述している。

児童の避難時の行動の変容

事前指導において、想定の確認、避難行動の繰り返しの指導を行うことで、避難訓練に対し、当事者意識をもって取り組める児童が増えた。また、それらの意識は、避難時に机の脚をしっかりとつかんだり、ハンカチを口に当てたりする行動から感じる事ができた。

児童のワークシートの記述から

集中して指示をしっかりと聞くことの大切さが分かりました。

(第1回)

学んだことを生かして、自分の命を守り、友達にも声をかけ合いながら避難できるようにしたいです。

(第6回)

今日の避難訓練の中で、自分の命を守るための「おかしも」の約束をしっかりと覚え、自分1人の時でも落ち着いて行動できるようにしたいです。

(第4回)

家の人にも、二次避難場所について伝え、話し合っておきたいです。

(第8回)

特設する安全学習（教科等における安全学習）と関連させた避難訓練

【特設する安全学習】（教科等における安全学習）

【定期的な安全指導】

①事前指導

②避難訓練



想定する地震や火災について児童に問い掛け、問題意識をもたせる。



危険要因を捉え、児童自身が考え、行動する。

【特設する安全学習】（教科等における安全学習）

【定期的な安全指導】

④事後指導

③避難訓練の振り返り



話し合いを通して、自分自身の行動や避難行動の改善について考える。



児童の代表が避難行動について自己評価をし、全体で振り返る。